

## 平成 26 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語講座・教授
氏名 Name	真嶋 潤子
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	外国にルーツのある児童生徒の複数言語能力の研究
<p>日本の言語教育政策における喫緊の課題である「日本語を母語としない児童生徒への言語教育」のあり方を考えるために、平成 21-23 年度（24 年度まで繰越）の科研費による研究成果を基に、発展的継続型の研究を行っている。外国にルーツを持つ児童（以下 CLD 児：Culturally, Linguistically Diverse Children）における言語能力を、母語と日本語の会話力と、教科学習に必要な読書力（リテラシー）の両面から縦断的に調査し、CLD 児のバイリンガル教育の基礎資料を提供することを目的としている。</p> <p>昨年度に継続して大阪府下の市立 K 小学校での二言語アセスメントと、インタビュー等のデータ収集を行った。昨年度、焦点化した生徒達への継続調査を行うだけでなく、新入生も調査することができた。また教員の協力を得て CLD 児童の家庭訪問も行った。</p> <p>研究成果を国内外の複数の学会で発表した。(1) (パネル発表)「日本の多文化多言語環境で育つ児童への二言語教育の可能性 -大阪府下の公立小学校 2 校の試み-」日本語教育国際研究大会 ICJLE2014 (2014 年 7 月 11 日 於：シドニー工科大学) (パネラー：真嶋潤子、友沢昭江、于涛、永田由貴、平野将洋) (2) (口頭発表)「タイと日本におけるグローバル化時代の言語教育政策 -多様な言語文化的背景を持つ児童生徒に着目して-」タイ国日本研究国際シンポジウム (2014 年 8 月 26 日 於：タイ国バンコク チュラーロンコーン大学文学部) (3) 基調講演「グローバル化時代の日本語教育 -社会的マイノリティーへの配慮-」『2014 年度日本語教育学会 第 6 回研究集会 関西地区 (大阪) 予稿集』日本語教育学会 pp.3-11. (2014 年 9 月 6 日 (土) 於：大阪 YMCA 国際専門学校日本語学科)</p> <p>また紀要に学術論文を投稿した。(4) 2014「公立小学校における低学年 CLD 児への言語教育と二言語能力 -中国語母語話者児童への縦断研究より-」真嶋潤子・櫻井千穂・孫成志・于涛 『日本語・日本文化研究』第 24 号 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻紀要編集委員会。</p> <p>このほか、社会活動として、日本で子育てをする外国人保護者への講演を行った。</p> <p>(5) 講演「子どものことばを伸ばすために -母語と日本語の教育について-」日本語サポートひまわり会主催「母語保持教育講演会」(2014 年 7 月 6 日 於：大阪市民交流センターひらの) (6) 講演「子どものことばを伸ばすために -母語と日本語の教育について-」(2015 年 2 月 1 日 於：兵庫県淡路市東浦公民館) 以上。</p>	